

イベント開催レポート

2019年7月17日

小学生から高校生までのプログラミング・ICTスキルを競う全国大会
「子どもみらいグランプリ2019」開催レポート

プレゼンテーション部門では全国9会場予選での上位者が発表！ ロボットプログラミング部門入賞作品の体験コーナーも盛況

日時：2019年7月15日（月・祝）名古屋市 ナディアパークにて開催

株式会社グローバルキャスト（所在地：愛知県名古屋市中村区、代表取締役 川口 英幸）は、2019年7月15日（月・祝）、自社の教育事業ブランド「G-VaLEd」において、小学生から高校生までを対象としたプログラミング・ICTスキルを競う全国大会「子どもみらいグランプリ2019」を愛知県名古屋市ナディアパーク（デザインホール）にて開催いたしました。

当日は、全国9会場で実施した地区大会の上位者が競う「プレゼンテーション部門」（小学生の部、中学生の部、高校生の部）や、全国の上位80名がパソコンのキーボードの打数を競う「入力部門」、パソコンで創作したイラスト作品の発表を行う「イラスト部門」が開催され、合わせて150人以上の子どもたちが集まりました。また、作品を一般公募していた「プログラミング部門」、「ロボットプログラミング部門」、「CG-ARTS部門」の表彰も行われました。

プレゼンテーション部門・小学生の部では、子どもたちが、茶道やバレーボールなどの普段取り組んでいる習い事や、学校での友人関係などについて、身振り手振りをまじえながら元気よく発表しました。それぞれの発表内容に合わせた衣装を着たり、グラフやアニメーションを使った資料を作成するなどの工夫をこらした発表に、会場からは拍手が起きていました。プレゼンテーション部門・中学生の部、高校生の部では、「相互コミュニケーションや伝達手段について」や、「ユニバーサルデザインについて」など、「伝える」という大会テーマに沿ってそれぞれが考えた発表が多く見られました。入力部門では、指定された文字を、時間内にどれだけ入力できるかを競いました。競技中は、静まり返った会場内に、キーボードを入力する音だけが響いており、子どもたちの集中力が伺えました。

表彰式では、入賞者の名前と所属している教室名が会場の大スクリーンに映し出され、名前を呼ばれた子どもたちは笑顔でステージに登壇していました。入賞者の数が最も多い「最優秀教室賞」は、福島県の八山田教室が受賞し、指導にあっている渡邊先生と、教室に通う子どもたちが一緒にステージに登壇しました。渡邊先生は、「『子どもみらいグランプリ』には、自分自身も小さいころから参加しており、教える立場になった今でも様々なことを経験させてもらっている。この大会では、勝ち負けだけではなく、個性を磨き合うようなたくさんのドラマが生まれます」と語りました。

また、会場内には、全国から公募した「プログラミング部門」「ロボットプログラミング部門」「CG-ARTS部門」の入賞作品の展示・体験ブースが設置され、大会に参加した親子でにぎわいました。同じくグローバルキャストが運営するドローンオンライン学習サイト「プロペララボ」のドローンプログラミング体験のコーナーも設置されており、子どもたちは試行錯誤しながらドローンの操縦に熱中していました。

大会サイト：<https://www.aviva-kids.com/mirai-grandprix2019/>





イラスト部門



入力部門



プレゼンテーション部門・小学生の部



プレゼンテーション部門・中学生の部



プレゼンテーション部門・高校生の部



会場展示作品



会場でのドローンプログラミング体験



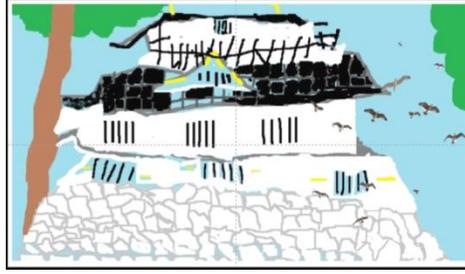
閉会式での代表挨拶

■受賞者・受賞作品のご紹介

【イラスト部門】



小学1・2年生の部
最優秀賞：村田 唯衣さん
(五明教室／小2)



小学3・4年生の部
最優秀賞：野田 楓登さん
(大里東教室／小4)



小学5・6年生の部
最優秀賞：矢崎 結衣さん
(南つくし野教室／小6)

【入力部門】

- 小学1・2年生の部
最優秀賞：及川 莉愛さん(志津川教室／小2)
- 小学3年生の部
最優秀賞：藤原 荘太さん(穴師教室／小3)
- 小学4年生の部
最優秀賞：小野 麻亜子さん(則武教室／小4)
- 小学5年生の部
最優秀賞：木原 滯さん(岡崎南教室／小5)
- 小学6年生の部
最優秀賞：下井 陽菜さん(則武教室／小6)
- 中学1年生の部
最優秀賞：木原 佑輔さん(岡崎南教室／中1)
- 中学2年生の部
最優秀賞：坂口 敬祐さん(松阪花岡教室／中2)
- 中学3年生の部
最優秀賞：松鶴 れいらさん(木曳野教室／中3)
- 高校生の部
最優秀賞：加納 功大さん(梅坪教室／高1)

【プレゼンテーション部門】

- 小学1～4年生の部
最優秀賞：武田 奈々佳さん(八山田教室／小3)
- 小学5・6年生の部
最優秀賞：渡邊 美葡さん(八山田教室／小6)
- 中学生の部
最優秀賞：坂口 敬祐さん(松阪花岡教室／中2)
- 高校生の部
最優秀賞：山田 莉央さん(池下教室／高1)



■グローバルキャストの教育事業『G-VaLEd (ジー・バレット)』について

グローバルキャストが運営に携わる各種教育サービス(アビバキッズ、アビバアットホーム、G-TELP、MyET)は統合事業ブランド「G-VaLEd(ジー・バレット)」を通じ展開しております。G-VaLEdとは、関わる人たちの人生がより豊かになる事を目指して、将来の夢の実現と個人の成長のために必要な教育サービスを創造します。

【会社概要】

- 会社名 : 株式会社 グローバルキャスト
 代表者 : 代表取締役 川口英幸
 設立 : 2008年2月20日
 資本金 : 88,675,000円
 事業内容: 教育・人財開発事業、業種特化型 BPO サービス事業
 所在地 : 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート 14F
 URL : <http://global-cast.jp/>

G-VaLEd presents
 子どもみらいグランプリ 2019



坂井 徹
中部アイティ協同組合
副代表理事
株式会社アイガ
代表取締役

審査員をさせていただきました、中部アイティ協同組合の坂井と申します。今回で5年連続審査員をさせていただきましたが、今年は特に、プレゼンテーションのコンテンツ(資料の作り込み)が、例年に比べ、とても向上しておりました。これは驚くほどのレベルアップです。また、今回のテーマであった「伝える」力が、確実に上がっていると感じました。

私どものIT業界も、昔から続くビジネスから、現在型(例えばGAFA)に、大きく変換して、またエンジニアはグローバルにも活躍しなければいけない中、「コミュニケーション」のプレゼンが多く、また「伝える」ことの大事さを、私も勉強させていただきました。ありがとうございました。アドバイスとしては、プレゼンで途中、機材などが動かないなど、実際のビジネスの場でも、多々あります。そのために、しっかりと「準備」し、どんな状態であろうと、堂々とやり抜く姿勢が重要だと思います。

中部アイティ協同組合は、東海三県を基盤とした130社が集まるIT企業の団体です。エンジニアの育成は、国を上げての大きなプロジェクトであります。ぜひ、地域の皆さまと一緒に若い学生さんに、少しでもIT業界の興味を持っていただければ幸いです。ありがとうございました。



藤井 創
バレッド(VALED
PRESS)編集長

今回、はじめて審査員として参加しました。イラスト部門については、バックグラウンドにあるストーリーを重視しました。絵でなにを伝えたいか、その思いが大事だと思ったからです。プレゼン部門では、小学生は皆さんの表情、中学生はプレゼンの使い方、高校生は自分の言葉でどれだけ表現できたかを中心に見ました。

小学生部門は、一生懸命話している姿が初々しく、しかしそれ以上に表現力があってとてもおもしろいプレゼンでした。中学生部門は、やはりレベルが高い。プレゼン資料の使い方もうまいし、どういふふうに見せたらいいか、よくわかっていました。高校生部門は、もうさすがというしかありません。自分の言葉で、キチンと心に響くようにしゃべっていて、大人の心にも刺さるプレゼンでした。プレゼンも絵も、本当に大事なものは見た人にどれだけ届くか、ということです。そういった意味でも、今回の「伝える」のテーマに沿った作品が多数見れてよかったと思います。



大澤 文孝
プログラマー

とても素晴らしい作品に出会うことができました。作品を見ていて感じたのは、どれもこだわりを持っているところです。音や画像のタイミングを何度も調整して、少しでも良いものを作りたいというところが、動きからだけでなく、プログラムの中身からも感じ取れました。さまざまなプログラミングテクニックを駆使して、本来は複雑な処理をシンプルにまとめているものも多く、深いところまでよく知っている作品もありました。

プログラミングは経験を積みれば積むほど、すごいものが作れるようになります。学年が上がれば、算数や数学、物理などで、プログラミングに使える知識を習得する機会も増えていくでしょう。今後も、素晴らしい作品を作り続けてください。



大池 慶近
グローバルキャスト
取締役

今回で4回審査をさせて頂いておりますが、年々レベルが高くなってきている事を感じます。現在、仕事においてもパソコンを用いるプレゼンテーションの機会はここ10年をみても非常に増えてきておりますので、学生の頃からこういった表現力を養う訓練の重要性を感じます。今回発表された方みなさん本当に素晴らしかったです。賞を獲得できなかった方も、できた方も500名以上の人の前で発表できた経験を自信に変えて今後に活かしていただきたいと思います。今後のみなさまのご活躍を楽しみしております。